

平成 26 年度 P 調査問題 中学校 1 年数学 (1)

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

(答えはすべて解答らんにかいとうに書きましょう。)

【1】 次の計算をしなさい。

(1) $6 + 0.5 \times 2$

(2) $\frac{3}{7} - \frac{2}{5}$

【2】 下にあげた 4 つの式で、●は、0 より大きい数を表わしています。

計算の答えが●の表す数より大きくなるものを、下のアからエまでのの中からすべて選び、その記号を書きなさい。

ア ● $\times 1.2$

イ ● $\times 0.7$

ウ ● $\div 1.3$

エ ● $\div 0.8$

【3】 答えが 210×0.6 の式で求められる問題が、下のアからエまでの中に 1 つあります。正しいものを 1 つ選びなさい。

ア 砂糖を 0.6 kg 買って、210 円払いました。この砂糖 1 kg のねだんはいくらですか。

イ 210 kg の大豆を 0.6 kg ずつふくろにつめます。大豆を全部つめるには、ふくろはいくつ必要ですか。

ウ 1 m のねだんが 210 円のリボンを 0.6 m 買いました。リボンの代金はいくらですか。

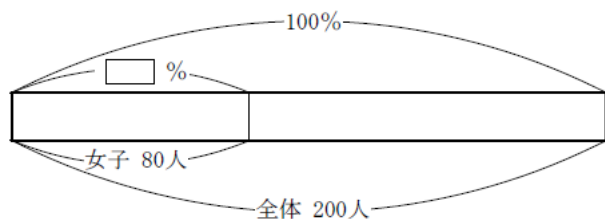
エ 赤いテープの長さは 210 cm です。赤いテープの長さは白いテープの長さの 0.6 倍です。白いテープの長さを求めなさい。

【4】 8 m の重さが 4 kg の棒があります。

この棒の 1 m の重さは何 kg ですか。求める式と答えを書きなさい。

【5】 ある会場に中学生が集まりました。集まった中学生 200 人のうち、80 人が女子でした。

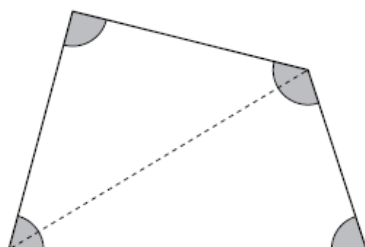
女子の人数の割合は、集まった中学生の人数の何%か求めなさい。求める式と答えを書きなさい。



平成 26 年度 P 調査問題 中学校 1 年数学 (2)

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

- 【6】 下の図のように、四角形を 2 つの三角形に分けて、四角形の 4 つの角の大きさの和を求めます。三角形の 3 つの角の大きさの和が 180° であることを使って、四角形の 4 つの角の大きさの和を求める式を書きなさい。ただし、計算の答えを書く必要はありません。



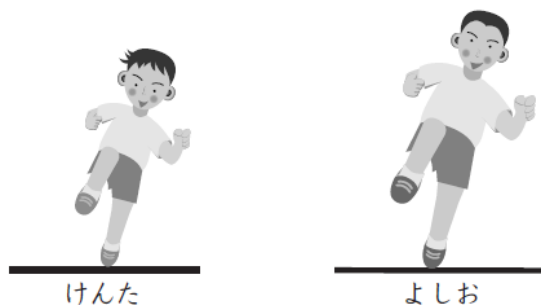
- 【7】 体育で走り高とびの学習をしています。
走り高とびの記録は、身長と 50 m 走の記録に関係すると言われています。
次の式で計算すると、走り高とびのめあてとなる高さが何 cm になるかがわかります。

走り高とびのめあてとなる高さ (cm) を求める式

身長 (cm) の半分に 120 を加えて、50m 走の記録 (秒) の 10 倍をひきます。
(身長 \div 2) + 120 - (50m 走の記録 \times 10)

けんたさんとよしおさんの身長と 50m 走の記録は、次のとおりです。

	身長 (cm)	50m 走の記録 (秒)
けんた	140	8.0
よしお	160	8.0



- (1) けんたさんは、上の式を使って、自分のめあてとなる高さを計算して求めました。実際に走り高とびをすると、記録は 115 cm でした。この記録を、けんたさんのめあてとなる高さ比べると、どのようなことが言えますか。
下のア からウ までの中から正しいものを 1 つ選んで、その番号を書きなさい。
ア 記録は、めあてとなる高さと同じ。
イ 記録は、めあてとなる高さを上回っている。
ウ 記録は、めあてとなる高さを下回っている。
- (2) よしおさんも、上の式を使って、自分のめあてとなる高さを計算して求めようとしています。けんたさんは、けんたさんとよしおさんの身長と 50 m 走の記録を見て、次のように言いました。

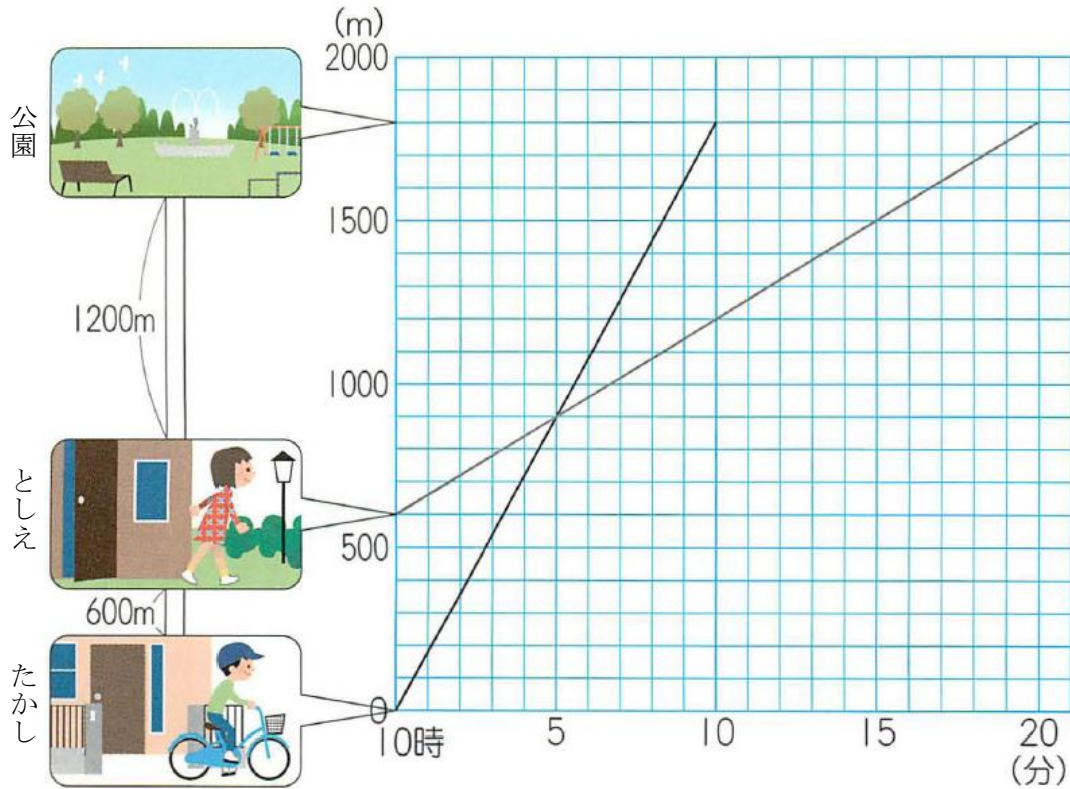
よしおさんのめあては、ぼくのめあてよりも高くなるのが、計算しなくてもわかるね。

けんたさんは、なぜ「高くなるのが、計算しなくてもわかる」と言ったのですか。そのわけを、言葉や式を使って書きなさい。

平成 26 年度 P 調査問題 中学校 1 年数学 (3)
 1 年 () 組 () 番 氏名 ()

【8】 たかしさんは自転車に乗って、としえさんは歩いて、それぞれが自分の家から午前 10 時に出発して公園に行きました。たかしさんの家から公園までは一本道で、その途中にとしえさんの家があります。

たかしさんととしえさんが出発してからの時間と道のりの関係をグラフに表すと下のようになります。



(1) たかしさんの速さを求めなさい。

(2) たかしさんがとしえさんの家の前を通った時間は、10 時何分から何分の間であるか求めなさい。

(3) 上のグラフを使うと、としえさんが公園についたのは、たかしさんが公園についた 10 分後であることを求めることができます。求め方を、ことばや数を使って書きなさい。

平成 26 年度 P 調査問題 中学校 1 年数学

解答用紙

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問 / 12 問

【1】 (1)	
【1】 (2)	
【2】	
【3】	
【4】	式
	答え kg
【5】	式
	答え %
【6】	

【7】 (1)	
------------	--

【7】 (2)	
------------	--

【8】 (1)	分速 m
------------	---

【8】 (2)	10 時 分から 10 時 分
------------	--

【8】 (3)	
------------	--

平成 26 年度 P 調査問題 中学校 1 年数学

正答(例)

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

【1】 (1)	7
【1】 (2)	$\frac{1}{35}$
【2】	ア, エ
【3】	ウ
【4】	式 $4 \div 8$
	答え 0.5 kg
【5】	式 $80 \div 200 = 0.4$
	答え 40 %
【6】	180×2

【7】 (1)	イ
------------	---

【7】 (2)	<p>(例)</p> <p>2 人のめあてを求める式は、50m 走の記録が同じだから、身長 $\div 2$ だけで比べればよい。2 人の身長を比べると、よしおさんのほうが高いから、めあても高くなる。</p>
------------	---

【8】 (1)	分速 180 m
------------	----------

【8】 (2)	10 時 3 分から 10 時 4 分
------------	---------------------

【8】 (3)	<p>(例)</p> <p>たかしさんのグラフで距離が 1800m の時の時刻と、としえさんのグラフで距離が 1800m の時刻をよみとり、その差を求める。</p>
------------	--

中学校 1 年数学【1】解説シート

◆出題の趣旨

- ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算ができるかどうかをみる。
- ・異分母分数の減法の計算ができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第4学年 D 数量関係

- (2) 数量の関係を式で簡潔に表したり、それをよんだりすることができるようにする。
ア 四則の混合した式や () を用いた式について理解し、正しく計算すること。

第5学年 A 数と計算

- (3) 小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。
ウ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。
- (4) 分数についての理解を深めるとともに、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。
オ 異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

◆解答類型 (1)

1◎	7 と解答しているもの	人	%
2	13 と解答しているもの		
3	16 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(2)

1◎	$\frac{1}{35}$ と解答しているもの (大きさの等しい分数を含む)	人	%
2	$\frac{1}{2}$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

- 小学校では、加減や乗除を用いる具体的な場面と式の表現を結び付けて考える活動などを通して、計算の順序を意識できる指導を図ってきた。中学校において数の範囲を負の数まで拡張した場合にも計算の順序を意識して計算することができるように、継続して指導することが大切である。
- 異分母の分数の加法や減法の計算では、通分することによって、既習の同分母の分数の加法や減法の計算に直して考えられるようにすることを大切にして指導してきている。
形式的に通分の仕方を練習させるだけでなく、通分することによって単位分数の幾つ分として考えられるようにすることが大切である。これは、単位をそろえて計算するという加法や減法の計算の基本となる考え方である。

中学校 1 年数学【2】解説シート

◆出題の趣旨

小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解しているかをみる。

◆学習指導要領との関連

第5学年 A 数と計算

- (3) 小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。
イ 乗数や除数が整数の場合の計算の仕方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。
ウ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。

◆解答類型

1◎	ア, エ と解答しているもの	人	%
2	ア と解答しているもの		
3	エ と解答しているもの		
4	ア, イ と解答しているもの		
5	ア, ウ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

- 数直線や図などを用いたり、具体的な場合に当てはめたりして数量の関係をとらえられるようにして、乗法と積の大きさ、除法と商の大きさの関係を調べる活動を取り入れることが大切である。このことは、数の範囲を負の数まで拡張した場合も大切にしたい。
- 問題を解決する際に、有効な手だての一つとして、簡単な場合に置き換えて考えることがある。例えば、本問題の選択肢4の式で簡単に計算ができるように、●に8を当てはめて除数と商の大きさの関係を調べることができる。文字式の指導の場面でも、このように簡単な場合に置き換えて考える活動を通して、生徒が問題を解決する手がかりを作っていけるようにすることが大切である。

中学校1年数学【3】解説シート

◆出題の趣旨

小数の乗法の意味について理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第5学年 A 数と計算

- (3) 小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。
イ 乗数や除数が整数の場合の計算の仕方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3◎	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

- 小学校では、「倍」という表現を含む文章から、何が基準量になっているかを確認して数量関係をとらえられるように指導している。その際、数量関係をとらえやすくするために、図に表すなどの工夫が行われている。中学校において文字を用いて数量関係を表現する場合にも意識して指導を行いたい。
- 立式の有効な手立ての一つとして、「簡単な数に置き換えて数量関係を考える」ことが考えられる。小数や分数を含む数量の関係から式をつくる際に、小数や分数を整数に置き換えて考えやすくするなどの立式のための手立てを考える活動は、中学校における文字を用いて立式する際にも大切にしたい。

中学校 1 年数学【4】解説シート

◆出題の趣旨

商が1より小さくなる等分除「(整数) ÷ (整数)」の場面で、除法が用いられることを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第5学年 A 数と計算

(3) 小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。

ア 乗数や除数が整数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。

ウ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。

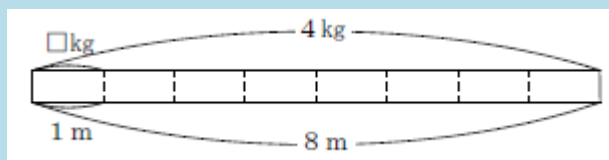
◆解答類型

	式	答え	人	%
1◎	4 ÷ 8 と解答	0.5 と解答しているもの		
2◎		4/8 と解答しているもの (大きさの等しい分数を含む)		
3		2 と解答しているもの		
4		上記以外の解答		
5	8 ÷ 4 と解答しているもの			
6	8 × 4 と解答しているもの 4 × 8 と解答しているもの			
9	上記以外の解答			
0	無解答			

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

○小学校では、商が1より小さくなる等分除「(整数) ÷ (整数)」の場面では、何が被除数で何が除数かをとらえて立式できるよう指導している。その際、次のような図をかく活動をとおして理解を深める工夫が行われている。



事象における数量やその関係を一般的に把握するために、数量の関係や法則などを文字で表すことができるように学習を行う中学校においても意識して指導を行いたい。

中学校 1 年数学【5】解説シート

◆出題の趣旨

百分率を求めることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第5学年 D 数量関係

(2) 百分率の意味について理解し、それを用いることができるようにする。

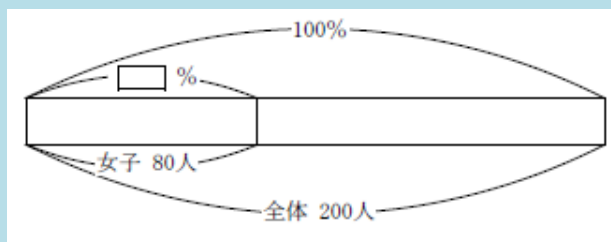
◆解答類型

	式	答え	人	%
1◎	$80 \div 200 (=0.4)$ と解答	40% と解答しているもの		
2○	女子の人数 \div 全体の人数 と解答	40% と解答しているもの		
3	類型 1, 2 以外の式を解答または無解答	40% と解答しているもの		
4	いずれかの式を解答 または、無解答	0.4% と解答しているもの		
5		2.5% と解答しているもの		
6		80% と解答しているもの		
9	上記以外の解答			
0	無解答			

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

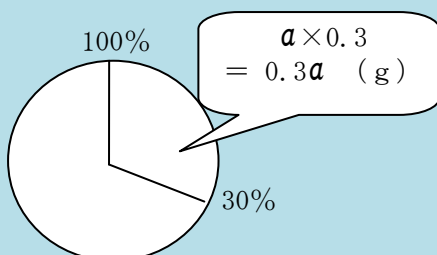
○本問題は、全体（集まった小学生の人数）と部分（女子の人数）の関係を割合で表す問題であり、集まった小学生の人数を基準量、女子の人数を比較量ととらえることが必要である。小学校では、次のようなテープ図や線分図に表す活動を取り入れ、数量の関係をとらえられるように指導している。中学校においても、具体的な数から文字を用いた式の指導の中で、このような図を用いて指導を行うことが大切である。



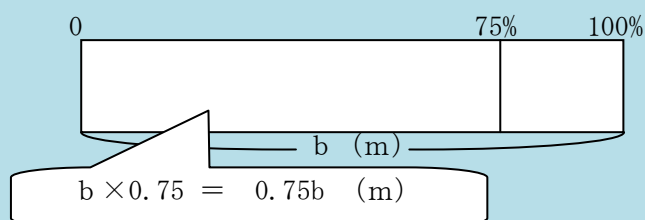
○計算によって割合を求めるだけになりがちである。百分率を表した円グラフや帯グラフを使って全体と部分の関係をよみ取るなど、割合を具体的にイメージして数量の関係をとらえる活動を大切にしたい。

- ①日常生活や社会科、理科の学習との関連をもたせ、円グラフや帯グラフが、全体と部分、部分と部分の間の関係を表したりよみ取ったりする上で便利であることに気付かせる。
- ②グラフを利用して数量の関係をとらえたり、文字式に表したりする活動を位置付ける。

< a グラムの 30%の重さ >



< b メートルの 75%の長さ >



中学校 1 年数学【6】解説シート

◆出題の趣旨

四角形の四つの角の大きさの和の求め方を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第 5 学年 C 図形

(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、基礎的な平面図形についての理解を一層深めるとともに、図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察できるようにする。

ウ 基本的な図形の簡単な性質を見だし、それを用いて図形を調べたり構成したりすること。

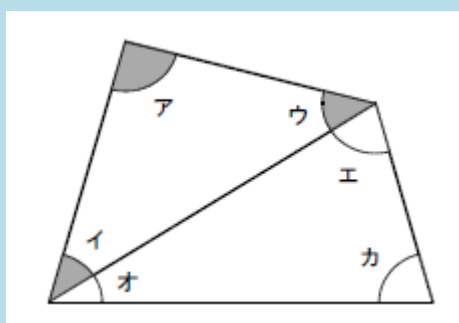
◆解答類型

※ 式については、答えの有無や正誤は問わない			
1◎	180×2 と解答しているもの	人	%
2◎	$180 + 180$ と解答しているもの		
3	360 と解答しているもの		
4	180×4 と解答しているもの		
5	類型 1, 2 以外で計算結果が 360 になる式を解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

○四角形などの多角形の内角の和を演繹的に考えられるようにすることは、中学校の学習において大切なことである。小学校では、下の図のように、示された二つの三角形の内角に記号を付け、三角形二つ分の内角の和が四角形一つ分の内角の和と等しくなっていることを視覚的に確認しながら指導をしている。中学校においても、一般的な図形で考える前に、具体的な場合を扱う等の工夫が考えられる。



中学校1年数学【7】解説シート

◆出題の趣旨

- (1) 四則の混合した言葉の式に数値を当てはめて値を求め、実際の記録と比較し、判断することができるかどうかをみる。
- (2) 式の形に着目して計算結果の大小を判断し、根拠となる考えを説明することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第4学年D 数量関係

- (2) 数量の関係を式で簡潔に表したり、それをよんだりすることができるようにする。
 - ア 四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算すること。
 - イ 公式についての考え方を理解し、公式を用いること。

第5学年D 数量関係

- (4) 簡単な式で表されている関係について、二つの数量の対応や変わり方に着目するなど、数量の関係の見方や調べ方についての理解を深める。

◆解答類型

【7】(1)

1	ア と解答しているもの	人	%
2◎	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

○言葉の式や公式には、数量の関係を一般的にとらえることができるというよさがある。そのことを理解するためには、具体的な場面で、言葉の式や公式にいろいろな数を当てはめる活動を取り入れることが大切である。このような指導の積み重ねが、文字式の指導につながる。

◆解答類型【7】(2)

	(正答の条件)	人	%
	次の①、②、③のすべてを書いている。または②、③を書いている。または①、②を書いている。 ① 2人のめあてを求める式の記述、または、めあてを求める式の形の説明 ② 2人の身長値の大小判断、または、めあてを求める式での2人の身長に関する部分の大小判断 ③ 2人の50m走の記録が等しいこと、または、めあてを求める式での2人の50m走の記録に関する部分が等しいこと ////////////////////////////////////// (正答例) ・2人のめあてを求める式は、50m走の記録が同じだから、身長÷2だけで比べればよい。2人の身長を比べると、よしおさんのほうが高いからめあても高くなる。 ・2人のめあてを求める式は、ひく数は 8.0×10 で同じなので、ひかれる数で比べればよい。けんたさんが $140 \div 2 + 120$ 、よしおさんが $160 \div 2 + 120$ で、140より160のほうが大きいので、よしおさんのほうがひかれる数が大きくなるから。 ・2人のめあてを求める式は、たす数は $120 - 8.0 \times 10$ で同じなので、たされる数で比べればよい。けんたさんが $140 \div 2$ 、よしおさんが $160 \div 2$ で、140より160のほうが大きいので、よしおさんのほうがたされる数が大きくなるから。 ・けんたさんとよしおさんは、50m走の記録は同じだけれど、身長はよしおさんのほうが高いから。		
1◎	①、②、③の全てをかいているもの		
2◎	②、③を書いているもの		
3◎	①、②を書いているもの		
4○	②のみを書いているもの		
5○	・①、③を書いている、2人の身長に関する部分が異なることのみを書いているもの ・③を書いている、2人の身長値が異なることのみを書いているもの ・①を書いている、2人の身長に関する部分が異なることのみを書いているもの		
6	2人の身長値が異なることのみを書いているもの		
7	めあての値を計算して求め、それを基にして説明しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

○この問題では、走り高跳びのめあてとなる高さを求める式を

$$\{ (\text{身長} \div 2) \} + \{ 120 - (50\text{m走の記録} \times 10) \}$$

とみれば、 $A + B$ の加法の式とみなすことができる。このとき、 B の値が一定であれば、 A の値の大きさを考えることにより計算結果の大小を判断することができる。例えば、式のどの部分が同じでどの部分が異なっているのか、どのような演算が用いられているのか、などに着目して計算結果の大小を判断する活動を取り入れることが考えられる。

○ある事柄が正しいことを見いだしたり、見いだしたことの正しさを示したり、自分の判断の正しさを他者に説明したりするには、筋道を立てて考えたり、その過程を説明したりできるようにすることが必要である。例えば、これまで学習したことや、すでに分かっていることを基にして、「○だから□となる」など、根拠を明らかにしながら説明する活動を取り入れることが考えられる。

中学校 1 年数学【8】解説シート

◆出題の趣旨

時間と距離の関係を表すグラフをみて、次のことができるかどうかをみる。

- ・必要な情報をよみとり、事象を数学的に解釈すること
- ・問題解決の方法を数学的に説明すること

◆学習指導要領との関連

第6 学年B 量と測定

(4) 速さについて理解し、求めることができるようにする。

第6 学年D 数量関係

(2) 伴って変わる二つの数量の関係を考察することができるようにする。

- ア 比例の関係について理解すること。また、式、表、グラフを用いてその特徴を調べること
- イ 比例の関係を用いて、問題を解決すること。

◆解答類型

【8】(1)

1◎	分速 180m と解答しているもの	人	%
2	分速 200m と解答しているもの		
3	分速 60m と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

【8】(2)

1◎	3分から4分 と解答しているもの	人	%
2	3分から5分 と解答しているもの		
3	10分から20分 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

- 目的に応じて日常的な事象を数学的にとらえ、グラフから必要な数量を的確に読み取ることができるようになることが大切である。
- グラフをよむ活動を大切にしながら、事象をグラフにかく活動も行うことで双方の活動を関連付け、問題場面への理解を深め、グラフを事象に即してよめるようにしていくことも小中の関数の学習を連続的にとらえて指導するためには大切である。

◆解答類型【8】(3)

	<p>(正答の条件)</p> <p>次の①、②、③のすべてを書いている。</p> <p>① たかしさんのグラフで距離が1800mの時刻をよみとることまたは実際にその時刻をよみとっている</p> <p>② としえさんのグラフで距離が1800mの時刻をよみとることまたは実際にその時刻をよみとっている</p> <p>③ 2人がそれぞれ公園に着いた時刻の差を求めること</p> <p>////////////////////////////////////</p> <p>(正答例)</p> <p>・たかしさんのグラフで距離が1800mの時の時刻と、としえさんのグラフで距離が1800mの時刻をよみとり、その差を求める。</p> <p>・グラフから、たかしさんが公園に着いた時刻は10時10分で、としえさんが公園に着いた時刻は10時20分だから、その差を求めればよい。</p>		
1◎	①、②、③のすべてを書いているもの	人	%
2	①、②を書いているもの		
3	③のみを書いているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

○日常的な事象の考察に数学を活用する方法を見いだしたり、その方法について説明したりするには、問題解決のための構想を立て、実践し、評価改善することが大切である。指導にあたっては、問題解決に必要な方法を示し、それを用いて解決できるようにするだけでなく、問題解決の方法それ自体を説明できるようにすることが大切である。その際には、数量やその関係などの「用いるもの」とその「用い方」を視点として、問題解決の方法を説明し伝え合う活動を取り入れることが考えられる。

平成二十六年年度 P 調査問題 中学校二年 国語

二年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

※答えは全て解答用紙に書きなさい。

問一 あとの問題に答えなさい。

【一】次の文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書きなさい。

(1) 意見の相違を考える。

(2) 年上を敬う。

【二】次の文の——部のひらがなを漢字に直し、楷書^{かいしょ}でていねいに書きなさい。

(1) パーティーにしようたいする。

(2) 約束をかわす。

【三】次の文の意味が通るようにするために、最も適切なものを1から4までの中から一つ選びなさい。

(1) 彼の活躍には(1) 関心 2 感心 3 歡心 4 感震)した。

(2) 美しい虹に歓声を(1) こめる 2 さげる 3 あげる 4 のべる)。

問二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「ぼく」は、小学校3年生。遊びを考え出しては、毎日、弟や近所の子どもたちを引き連れて空地を駆け回っていた。そのグルーブのなかに右足の付け根から先が義足の「あーちゃん」がいた。「あーちゃん」はいくら転んでも自分の一人の力で立ち上がるような少年で、決して誰の手も借りなかった。「ぼく」は、だんだんと、どんな遊びをするか神経を使っようになっっていた。

やはりあーちゃんといっしょに遊ぶことは気が重かったのだが、月日が流れるうちにそれは苦痛ではなくなっていた。彼の義足の金具の音も気にならなくなっていたのである。あーちゃんが僕らの仲間になってどれくらいの時間がたったころだろう。僕たちは近くのたんぼにかえるを捕りに行ったのだ。たんぼは通過した台風のせいであかるんでいた。ちよっとしたくぼみがあって、あーちゃんはそこに足を取られたのである。泥の深みにはまって抜け出せず悪戦苦闘しているあーちゃんに、僕はほんとうに自然に手を差し出していたのだ。彼がハンディを背負っている人だという意識などみじんもなかった。僕の手は彼の前にごく自然に差し出されていたのである。

するとふしぎなことにあーちゃんの手が僕の手を握ってきたのだ。僕は力まかせに彼の体を引きずり上げるのだった。

「ありがとう。」

あーちゃんがそう言ったので、僕はただ照れるしかなかったが、あーちゃんのそんな言葉を聞くのは初め

てのことでもうれしかったのである。

そしてそれから更に月日が過ぎたある日、僕はずっと気になっていたことをあーちゃんにきいてみたのである。小さな子どもたちが母親たちに呼ばれて家路に就いた後だった。広場には僕とあーちゃんと僕の弟しかいなかった。

「あーちゃんは、どうしてそうなったと。」

僕はあーちゃんの義足を指差してそうきいたのだ。どうしてそんなことをきいたのか僕にはあのときの自分の気持ちを思い出せない。差し出した手のような自然の質問だった。

「これね。」

あーちゃんは自分の足を見てそして笑うのだった。

「電車にはねられたとたい。」

僕の横にいた弟が大声をあげた。

「電車にね？」

あーちゃんはうなづく。

「なして、電車にはねられよったと。」

今度は僕がきいた。

あーちゃんは少し考えた後、再び笑顔で言うのだった。

「子猫ば助けようとしたたい。」

「子猫？」

僕と弟はほとんど同時に声をあげた。

「うん、まだ俺が小さかどきに、子猫が線路に飛び出したとよ。ちようど遮断機しゃだんが降りようどきで、見たら電車がその子猫に向かって迫りよった。あつ、と叫んだ瞬間には俺の体は踏切の中へ潜り込んでいたたい。」
僕らは黙っていた。少しして弟があーちゃんにきき返す。

「そんで？」

あーちゃんは笑っている。

「そんだけき。気がついたら、はね飛ばされとった。」

僕はあーちゃんの義足のほうの足を見下ろしていた。えも言われぬ痛みが心の中を駆け抜けていく。自分の足だったら、という想像が僕を包み込む。

「子猫はどげんしたね。」

僕がしばらくしてきくと、彼は笑って首を真横に振るのだった。

僕と弟はしばらく言葉を失ったままだった。何かを言いたかったがまとまらなかった。ただ、なぜかあーちゃんがすごく好きになり始めていたのである。

きれいだっただ夕焼け空は夜の暗さにもみ込まれ始めていて、失敗した水彩画のごとく黒くにじみ出していた。

「触ってみるかい？」

僕がじっとあーちゃんの義足のほうの足を見つめていたら、突然彼がそう言ってきたのだ。彼はほほえんでいたが僕と弟は驚いた顔を隠せなかった。

「いいの？」

そう言ったのは好奇心旺盛な弟だった。

あーちゃんは右足を投げ出すと顔色ひとつ変えず僕たちの前でズボンの裾をまくったのだ。靴下の上に肌色の木が現れたときには、僕も弟も思わず声をのんでしまった。

問三 次の新聞記事を読んで、あとの問いに答えなさい。

【新聞記事】

漢字、正確に書けますか？

文化庁 国語に関する世論調査

A

漢字を正確に書く力が衰えた

年代	平成13年度調査	平成23年度調査(今回)
18~19歳	26.4	48.7
20代	44.1	74.9
30代	57.7	77.6
40代	51.8	79.5
50代	45.1	71.7
60歳以上	26.5	55.6

B

「書く力が衰えた」66・5%

調査では、携帯電話や電子メールなどの普及によって「漢字を正確に書く力が衰えた」と感じる人が66・5%に上り、平成13年度調査時より25・2ポイント増えたことが20日、文化庁の「平成23年度国語に関する世論調査」で分かった。

調査では、携帯電話や電子メールなどの普及による情報交換手段の多様化が、日常生活に影響を与えている例として思い当たることを複数選択で質問。その結果「漢字を正確に書く力が衰えた」と回答した人が大幅に増えた。年齢別に見ると、20代と50代で7割台となっており、平成13年度には2割台だった16歳と19歳と60歳以上でも、それぞれ、5割弱と5割台半ばとなっている。

また、全ての年代で平成13年度調査の結果よりも今回の調査結果の割合の方が高くなっており、最も差の小さい30代で19・9ポイント、最も差の大きい20代では、30・8ポイントとなっている。

このほか「手紙やはがきは余り利用しないようになった」が15・6ポイント増の57・2%、「手で字を書くことが面倒くさく感じるようになった」が10・1ポイント増の42・0%となった。

中学校の国語科教諭(47)は「似た形の文字の使い分けや同じ読み方をする語句の区別などについては、今後も注意して教え、情報機器と上手に付き合えるようにさせたい」と話した。

平成24年9月21日(金)「全国新聞」朝刊より

【五】で囲まれたA、Bの部分それぞれをそれぞれなんと呼ぶか。次の1から4までのの中から選びなさい。

- 1 見出し
- 2 キャプション
- 3 コラム
- 4 リード文

【六】Aの部分についての説明で最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 世の中の出来事や季節の話題などについて書かれた文章
- 2 長い記事や重要な記事の本文の内容を要約したもの
- 3 写真を説明する文章。「絵解き」ともいう
- 4 記事の内容を短い言葉で表したものの

【七】Bの部分の文章の特徴について説明した次のうち、適切でないものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 記事のあらましを書いて、本文でさらに詳しく書いている。
- 2 内容に、だれが、いつなどの5W1Hの要素を含んでいる。
- 3 「漢字」とはどどういうものかについて書いている。
- 4 主に、文化庁の世論調査の結果について書いている。

正答(例)

二年

組

番 氏名

問一

三	三	二
(1)	(1)	(1)
2	招待	そうい
(2)		
3	(2)	(2)
	交	うやま

正答数

問/11問

問二

四						
よ	が	大	れ	て	れ	少
う	純	人	た	い	た	年
な	粋	と	ん	る	と	た
感	に	は	だ	。	た	ち
じ	心 ⁸⁰	違	よ	こ	い	の
が	を	っ	」	れ	』	会
す	つ	て	と	は	な	話
る	な	真	表	、	ど	に
。	げ	っ	現	「	の	『
¹⁰⁰	て	白	す	電	方	電
	い	な	る	車	言	車
	っ	少	よ	に	が	に
	て	年	り	は	使	は
	い	た	も	ね	わ	ね
	る	ち	、	ら	れ	ら

問三

五
A
1
B
4
六
4
七
3

中学校 2 年国語【一】【二】解説シート

◆出題の趣旨

文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第 1 学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) ウ 文字に関する事項

(イ) 学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

◆解答類型

【一】	(1)	1◎	「そうい」と解答しているもの	人	%
		2	「そうい」のうち「そう」だけ正しく解答しているもの		
		3	「そうい」のうち「い」だけ正しく解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	(2)	1◎	「うやま」と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
【二】	(1)	1◎	「招待」と解答しているもの		
		2	「招待」のうち「招」だけ正しく解答しているもの		
		3	「招待」のうち「待」だけ正しく解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	(2)	1◎	「交」と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

漢字は、一字一字を正確に読み書きできるようにするだけでなく、文脈に即して使えるようにすることが大切である。そのためには、実際に漢字を読んだり書いたりする機会を多くして、習熟を図るようにすることが求められる。なお、「常用漢字表」の改訂に伴い、中学校学習指導要領の「漢字に関する事項」が一部改訂されている（平成 22 年 11 月 30 日文部科学省告示第 161 号）。このことを踏まえて指導する必要がある。

(参照)

「平成 21 年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語 A⁸一に係る授業アイデア例」

<http://www.nier.go.jp/jugyourei/h25/pdf/junior-all.pdf>

「4 年間のまとめ【中学校編】」P. 14～P. 15, P. 111

<http://www.nier.go.jp/4nenmatome/syuppannitsuite.pdf>

「平成 21 年度【中学校】報告書」P. 195

http://www.nier.go.jp/09chousakekkahoukoku/03chuu_chousakekka_houkokusho.htm

中学校 2 年国語【三】解説シート

◆出題の趣旨

語句の意味を理解し、文脈の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第 1 学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

(ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。

◆解答類型

【三】	(1)	1◎	「2」と解答しているもの	人	%
		2	「2」以外を解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	(2)	1◎	「3」と解答しているもの		
		2	「3」以外を解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

語句についての理解を深めるためには、語句の辞書的な意味を基にして、話や文脈の中での意味を捉えることが大切である。例えば、同音異義語について、用いられている漢字や前後の文脈から意味を考えることなどが有効である。また、語感を磨き語彙を豊かにするためには、例えば、類義語を取り上げ、使う場面や伝えたい内容を考えた上で適切に使い分ける、実際に話や文章の中で慣用的な表現を使い、改めてその意味や用法の違いを考えるなどの学習活動が有効である。

(参考)

「平成 21 年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語 A 8 三に係る授業アイデア例」

http://www.nier.go.jp/09jugyourei/21_chuu_jugyou_idea_houkoku.pdf

「4 年間のまとめ【中学校編】 P.14～P.15, P.110

<http://www.nier.go.jp/4nenmatome/syuppannitsuite.pdf>

「平成 21 年度【中学校】報告書」 P.200

http://www.nier.go.jp/09chousakekkahoukoku/03chuu_chousakekka_houkokusho.htm

「平成 21 年度【中学校】授業アイデア例」 P.2

http://www.nier.go.jp/09jugyourei/21_chuu_jugyou_idea_houkoku.pdf

中学校 2 年国語【四】解説シート

◆出題の趣旨

文章の内容について、根拠を明確にして自分の考えを書きことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第1学年〕 B 書くこと

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

〔第1学年〕 C 読むこと

オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。

◆解答類型

【四】	(正答の条件)		
	① 引用する部分を二重かぎかっこ(『 』)でくくり、書いている。		
	② 「太郎くんのメモ①～③」の内の一つを取り上げて、自分が感じたことや考えたことを具体的に書いている。		
	③ 80 字以上 100 字以内で書いている。		
	(正答例)		
	①を取り上げた例		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少年たちの会話に『電車にはねられたとたい』などの方言が使われている。これは、「電車にはねられたんだよ」と表現するよりも、大人とは違って真っ白な少年たちが純粋に心をつなげていっているような感じがする。(99 字) ・ 私は、自分自身が、幼いころにこんな体験をしたことがあるかのような「懐かしい気持ち」になった。対話が『電車にはねられたとたい』などの方言で書かれているので、どこの地方にもあるような印象を受ける。(96 字) 		
	②を取り上げた例		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ぼく」は少し『義足の金具の音』が気になっていた。それが、最後には『コンコンという乾いた木の音』という書き方に变化している。ここから、自然に二人の少年の心が開かれ、つながっていく様子が伝わってくる。(99 字) 			
③を取り上げた例			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係が繋がった瞬間の空の様子を『失敗した水彩画のごとく黒くにじみ出していた』と表現することで、「ぼく」と「あーちゃん」との間にあった明確な区切りがぼんやりしてなくなっていくという変化がわかる。(97 字) 			
1◎	条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	人	%
2	条件①, ②を満たし, ③を満たさないで解答しているもの		
3	条件①, ③を満たし, ②を満たさないで解答しているもの		
4	条件②, ③を満たし, ①を満たさないで解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

文学的な文章を読んで、感じたことや考えたことを書く際には、「なぜ」そのように感じたのか、文章の「どこ」からそのように考えたのかなど、根拠を明確にして書くことが大切である。根拠として本文を引用する場合には、引用した部分が自分の考えの根拠として妥当であるかを考えることが重要である。例えば、感想を交流する際に、同じ部分を根拠にしている者同士でそこから感じたことを比べたり、感じたことや考えたことが似ている者同士で根拠となる部分を比べたりする学習活動が考えられる。

(参考)

「平成 25 年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例 (中学校国語 P11

「星新一の作品を読んで、感想交流会を開こう」～根拠を明確にして自分の考えを書く～

【中学校】国語 B 2三に係る授業アイデア例)

<http://www.nier.go.jp/jugyourei/h25/pdf/junior-all.pdf>

中学校 2 年国語【五】【六】【七】解説シート

◆出題の趣旨

文章の構成や表現の特徴を捉えることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的な部分と付加的な部分， 事実と意見などを読み分け， 目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

エ 文章の構成や展開， 表現の特徴について， 自分の考えをもつこと。

◆解答類型

【五】	A	1◎	「1」と解答しているもの	人	%
		2	「1」以外を解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	B	1◎	「4」と解答しているもの		
		2	「4」以外を解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
【六】	1◎	「4」と解答しているもの			
	2	「4」以外を解答しているもの			
	9	上記以外の解答			
	0	無解答			
【七】	1◎	「3」と解答しているもの			
	2	「3」以外を解答しているもの			
	9	上記以外の解答			
	0	無解答			

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

目的や意図に応じて必要な情報を収集し活用する際には，文章の形態に応じた構成や展開，表現の特徴などに注意して読むことが大切である。例えば，新聞記事には，見出しやリードがあること，重要な事柄を始めに書くことなどの特徴があることを踏まえ，新聞から必要な情報を効率よく探す読み方について話し合う学習形態が考えられる。

また，パンフレットやガイドブック，説明書など様々な形態の文章を読み，その特徴をまとめたり，課題の解決に必要な情報を選択したりすることも有効である。

(参考)

「平成 25 年度【中学校】授業アイデア例」P. 8

http://www.nier.go.jp/09jugyourei/21_chuu_jugyou_idea_houkoku.pdf

平成 26 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 (1)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

(答えはすべて解答用紙に書きなさい。)

- 【 1 】 太郎さんはバスケットボールの試合で、10 得点することを目標にしています。
 正の数と負の数を用いると、目標との差を正の数、負の数で表すことができます。
 例えば、15 得点したときは、目標よりも 5 点高いので、得点との差は正の数を用いて +5 点と表せます。
 ある日の試合では 6 得点しました。このときの目標との差を表しなさい。

- 【 2 】 家を出てから、分速 60m で x 分間歩き、さらに、分速 70m で y 分歩いて学校に着きました。
 このとき、 $60x+70y$ は何を表していますか。下の **ア** から **ウ** までの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

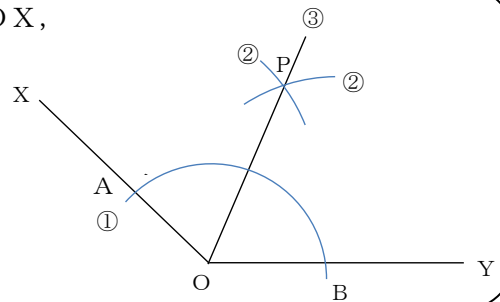
- ア 家から学校まで行くのにかかった時間
- イ 家から学校までの距離
- ウ 家から学校まで行くときの速さ

- 【 3 】 一次方程式 $3x+5=9$ を解きなさい。

- 【 4 】 $\angle XOY$ の二等分線を、次の方法で作図しました。

作図の方法

- ① 点 O を中心として適当な半径の円をかき、辺 OX 、
 辺 OY との交点をそれぞれ A 、 B とする。
- ② 2 点 A 、 B をそれぞれ中心として、等しい
 半径の円をかき、その交点を P とする。
- ③ 直線 OP をひく。



この方法で $\angle XOY$ の点 P を通る XY の二等分線が作図できるのは、上の図で点 A 、 O 、 B 、 P の順に結んでできる四角形 $AOBP$ が、ある性質をもつ図形だからです。その図形が、下の **ア** から **オ** までの中にあります。正しいものを 1 つ選びなさい。

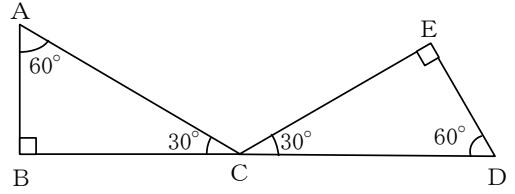
- ア 直線 OP を対称の軸とする線対称な図形
- イ 直線 OX を対称の軸とする線対称な図形
- ウ 点 A と点 B を通る直線を対象の軸とする線対称な図形
- エ 点 O を対称の中心とする点对称な図形
- オ 点 A と点 B を通る直線と直線 OP の交点を対称の中心とする点对称な図形

平成 26 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 (2)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

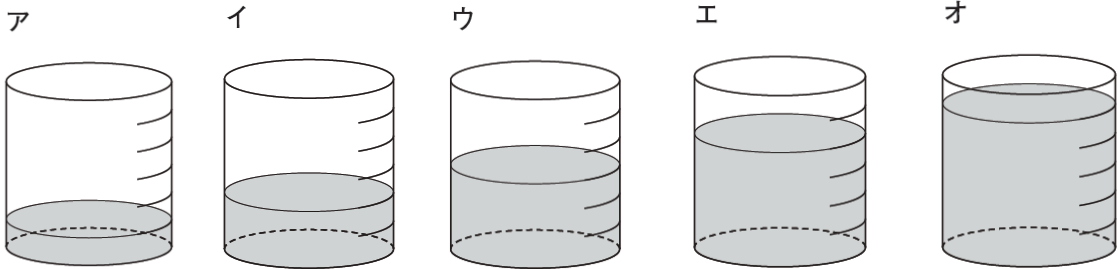
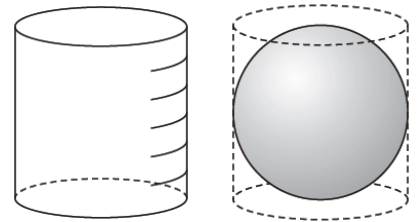
- 【5】 右の図のように、3つの内角が 30° 、 90° 、 60° の $\triangle ABC$ とそれと合同な $\triangle DEC$ があり、点 B、C、D は一直線上にあります。

$\triangle ABC$ を、点 C を中心として時計回りに回転移動して、 $\triangle DEC$ にぴったり重ねるには、何度回転移動すればよいですか。その角度を求めなさい。

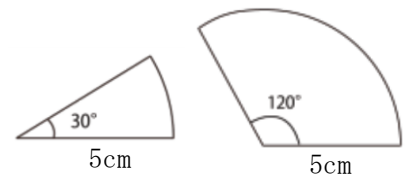


- 【6】 右の図のように底面の直径と高さが等しい円柱の容器と、この円柱の容器にぴったり入る球があります。この円柱の容器には、高さを 6 等分した目盛りがついています。

この円柱の容器に、球の体積と同じ量の水を入れます。このとき、下のアからオまでの中に、球の体積と同じ量の水を表している図があります。正しいものを 1 つ選びなさい。



- 【7】 花子さんは、右のような半径が 5cm で中心角が異なるおうぎ形について、弧の長さが何 cm になるかを、いくつか計算して求めてみました。



すると、同じ半径のおうぎ形の弧の長さについて、「中心角の大きさを決めると、それにもなって弧の長さがただ 1 つ決まる」という関係があることが分かりました。

下線部を、次のように表すとき、 と に当てはまる言葉を書きなさい。

は の関数である。

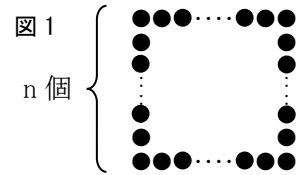
- 【8】 比例定数が -2 である比例の式を、下のアからオまでの中から 1 つ選びなさい。

ア $y = -2x$ イ $y = 2x$ ウ $y = 3x - 2$ エ $y = -3x + 2$ オ $y = -\frac{2}{x}$

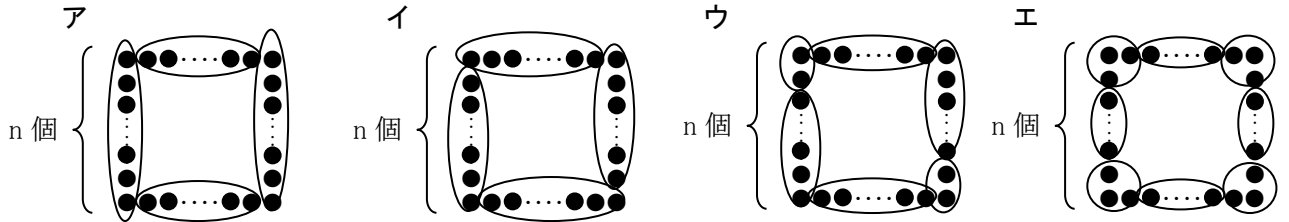
平成 26 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 (3)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

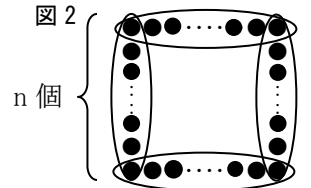
【 9 】 図 1 のように、1 辺に n 個ずつ^{ごいし} 碁石を並べて正方形の形を作り碁石全部の個数を求めます。次の各問いに答えなさい。



(1) 図 1 で、碁石のまとまりを考えて、ある囲み方をすると、碁石全部の個数は $4(n-1)$ という式で求めることができます。その囲み方が、下のアからエまでの中にあります。正しいものを 1 つ選びなさい。



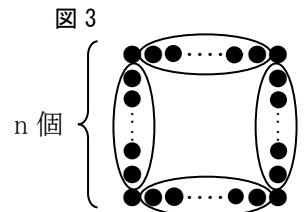
(2) 図 2 のような囲み方をすると、碁石全部の個数は、 $4n-4$ という式で求めることができます。碁石全部の個数を求める式が $4n-4$ になる理由は、次のように説明できます。



説明

正方形の辺ごとにすべての碁石を囲んでいるので、1 つのまとまりの個数は n 個である。同じまとまりが 4 つあるので、このまとまりで数えた碁石の個数は $4n$ 個になる。このとき、各頂点の碁石を 2 回数えているので、碁石全部の個数は $4n$ 個より 4 個少ない。
したがって、碁石全部の個数を求める式は、 $4n-4$ になる。

図 3 のように囲み方を変えてみると、碁石全部の個数は、 $4(n-2)+4$ という式で求めることができます。碁石全部の個数を求める式が $4(n-2)+4$ になる理由について、下の説明を完成しなさい。



説明

(解答用紙に書きなさい)

したがって、碁石全部の個数を求める式は、 $4(n-2)+4$ になる。

平成 26 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 (4)

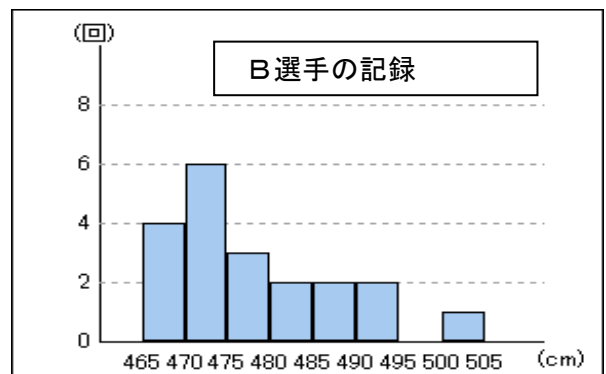
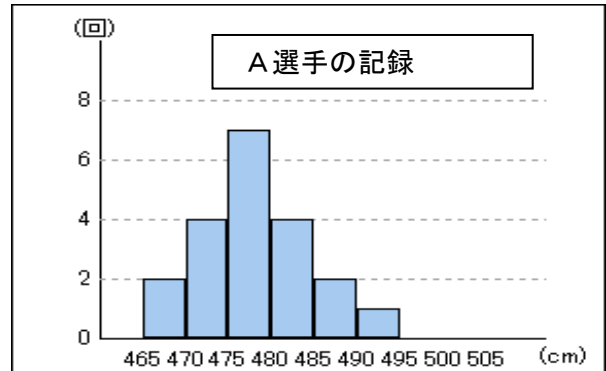
2 年 () 組 () 番 氏名 ()

【10】 ある陸上チームでは，大会の走り幅跳びに出場する選手を一人決めることになりました。

右の 2 つのヒストグラムは，候補の二人の選手が 20 回ずつ跳んだ記録をまとめたものです。

例えば，このヒストグラムから，二人とも 485cm 以上 490cm 未満の記録を 2 回跳んだことがわかります。

(1) A 選手のヒストグラムから，470cm 以上 475cm 未満の階級の相対度数を求めなさい。



(2) 二人のヒストグラムを比較して，そこから分かる特徴をもとに，より上位の記録を出しそうな選手を選ぶとすると，あなたはどちらの選手を選びますか。A 選手，B 選手の中から，どちらか一方の選手を選びなさい。また，その選手を選んだ理由を，二人のヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらの選手を選んで説明してもかまいません。

平成 26 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 解答用紙

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数
問 / 12 問

【1】 点

【9】
(1)

【2】

【3】 $x =$

【9】
(2)

したがって、碁石全部の個数を求める式は、 $4(n-2)+4$ になる。

【4】

【5】 ◦

【6】

【10】
(1)

【7】

①	<input style="width: 90%;" type="text"/>
②	<input style="width: 90%;" type="text"/>

【10】
(2)

【選んだ選手… ____ 選手】

【説明】

【8】

平成 26 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 解答 (例)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

【1】 - 4 点

【2】 イ

【3】 $x = \frac{4}{3}$

【4】 ア

【5】 150 °

【6】 エ

【7】 ① 弧の長さ
② 中心角の大きさ

【8】 ア

【9】 (1) イ

【9】 (2)

(例)
正方形の辺ごとに頂点以外の基石を囲んでいるので、1つのまよりの個数は $(n-2)$ 個である。
同じまよりが4つあるので、このまよりで数えた基石の個数は $4(n-2)$ 個になる。
このとき、各頂点の基石を数えていないので、基石全部の個数は、 $4(n-2)$ 個より4個多い。
したがって、基石全部の個数を求める式は、 $4(n-2)+4$ になる。

【10】 (1) 0.2

【10】 (2)

【A選手を選んだ場合】
(例) A選手の記録の方がB選手の記録より範囲が小さく、475cm 未満を跳んだ合計の回数が少ないので、A選手の方が上位の記録を出しそうな選手である。だから、A選手を選ぶ。
【B選手を選んだ場合】
(例) B選手の記録の方がA選手の記録より490cm 以上の階級の度数の合計が大きいので、B選手の方が上位の記録を出しそうな選手である。だから、B選手を選ぶ。

中学校 2 年数学【1】解説シート

◆出題の趣旨

実生活の場面において、ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。

ア 正の数と負の数の必要性和意味を理解すること。

エ 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。

◆解答類型

1◎	-4 と解答しているもの	人	%
2	+4 と解答しているもの		
3	4 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

○ 正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解できるようにする

正の数と負の数の必要性和意味を理解できるようにするために、実生活の様々な場面に結び付けて指導することが大切である。

そのために、実生活の様々な場面における数量やその変化を、正の数と負の数を用いて表す場面を設定することが考えられる。

中学校 2 年数学【2】解説シート

◆出題の趣旨

与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2◎	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

- 事柄や数量の関係を文字式で表したり，その文字式の意味を読み取ったりすることができるようにする

様々な問題解決の場面で文字式を利用する際に，事象における数量の関係や法則を文字式で表したり，文字式で表された事柄や数量の関係を読み取ったりすることができるように指導したりすることが大切である。

そのために，具体的な数や言葉を使った式を利用して数量の関係をとらえ，文字式で表したり，その意味を解釈したりする場面を設定することが考えられる。

中学校2年数学【3】解説シート

◆出題の趣旨

簡単な一元一次方程式を解くことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

- (3) 方程式について理解し，一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。
ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。

◆解答類型

		人	%
1◎	$\frac{4}{3}$ と解答しているもの		
2	$\frac{3}{4}$ と解答しているもの		
3	$\frac{14}{3}$ と解答しているもの		
4	$\frac{3}{14}$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

- 方程式を，根拠に基づいて的確に解くことができるようにする

方程式を解く際に，等式の性質に基づいて解を求めることができるようにすることが大切である。

例えば，方程式 について等式の性質を確かめながら解くとともに，説明し伝え合う活動を取り入れることが考えられる。また，求めた解をもとの方程式の左辺に含まれる文字に代入して，両辺の式の値が等しくなるかどうかを確かめる活動を取り入れることが考えられる。

中学校 2 年 数学【4】 解説シート

◆ 出題の趣旨

角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を見いだすことができるかどうかをみる。

◆ 学習指導要領との関連

第 1 学年 B 図形

(1) 観察, 操作や実験などの活動を通して, 見通しをもって作図したり図形の関係について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに, 論理的に考察し表現する能力を培う。

ア 角の二等分線, 線分の垂直二等分線, 垂線などの基本的な作図の方法を理解し, それを具体的な場面で活用すること。

◆ 解答類型

1◎	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
5	オ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

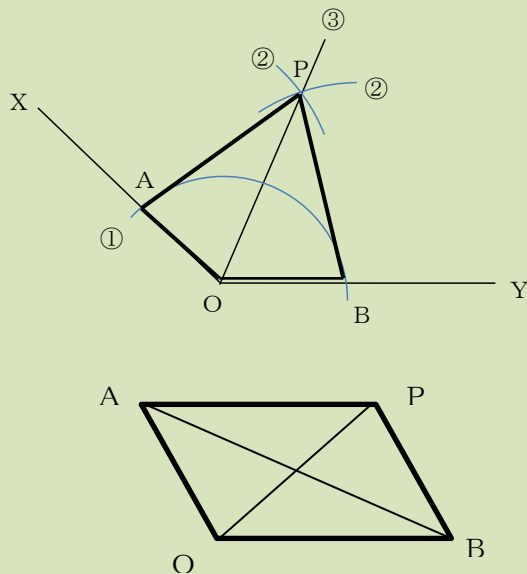
◆ 学習指導にあたって

○ 作図の方法を図形の対称性に着目して見直すことができるようにする

作図の方法を見直し, その基になっている対称な図形の性質を理解できるように指導することが必要である。

例えば, 四角形 AOBP が線対称な図形であることに着目すると, 直線 OP は対称の軸で $\angle AOP = \angle BOP$ となることから, 角の二等分線が作図できていることを確かめる活動を取り入れることが考えられる。

また, 点 A と点 B を通る直線と直線 OP の交点を対称の中心とする点対称な図形であることを示しても, 直線 OP が $\angle XOY$ の二等分線になっていることの根拠にはならないことを確認する場面を設定することが考えられる。



中学校 2 年数学【5】解説シート

◆出題の趣旨

回転移動の意味を理解しているかどうかをみる

◆学習指導要領との関連

第1学年 B 図形

- (1) 観察, 操作や実験などの活動を通して, 見通しをもって作図したり図形の関係について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに, 論理的に考察し表現する能力を培う。
イ 平行移動, 対称移動及び回転移動について理解し, 二つの図形の関係について調べること。

◆解答類型

1◎	150 と解答しているもの (510 など同じ移動であるものを含む。以下同様。)	人	%
2	30 と解答しているもの		
3	90 と解答しているもの		
4	180 と解答しているもの		
5	210 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

- 移動前と移動後の図形を比較して2つの図形の関係を読み取ることができるようにする

移動前と移動後の図形を比較する機会を設定し, 対応する頂点や辺の位置関係などを読みとることができるように指導することが必要である。

中学校 2 年数学【6】解説シート

◆出題の趣旨

球の体積を, 球がぴったり入る円柱の体積との関係から理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 B 図形

- (2) 観察, 操作や実験などの活動を通して, 空間図形についての理解を深めるとともに, 図形の計量についての能力を伸ばす。
ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体, 錐体及び球の表面積と体積を求めること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
5	オ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

- 球の体積について実感を伴って理解できるようにする

球の体積を実感を伴って理解できるようにすることが必要である。そのために、球の体積と円柱の体積との関係を予想し、その予想が正しいかどうかを、模型を用いたり実験による測定を行ったりして確かめる場面を設定することが考えられる。

中学校2年数学【7】解説シート

◆出題の趣旨

独立変数と従属変数の関係を的確に捉え、とらえた関係を「～は～の関数である」と表現できるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 C 関数

- (1) 具体的な事象の中から二つの数量をとりだし、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。
ア 関数関係の意味を理解すること。

◆解答類型

1◎	①に 弧の長さ と解答し、 ②に 中心角の大きさ と解答しているもの	人	%
2	①に 弧 と解答し、②に 中心角の大きさ と解答しているもの ①に 弧の長さ と解答し、②に 中心角 と解答しているもの ①に 弧 と解答し、②に 中心角 と解答しているもの		
3	①に 中心角の大きさ と解答し、 ②に 弧の長さ と解答しているもの		
4	①に 中心角 と解答し、②に 弧の長さ と解答しているもの ①に 中心角の大きさ と解答し、②に 弧 と解答しているもの ①に 中心角と 解答し、②に 弧 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

- 図形の性質を関数の視点からとらえ直し、その内容についての理解を深めることができるようにする

指導に当たっては、例えば、おうぎ形の中心角の大きさと弧の長さについての表を観察することなどを通して、「おうぎ形の中心角を決めると、それにもなっておうぎ形の弧の長さがただ1つ決まる」ことから、「おうぎ形の弧の長さはおうぎ形の中心角の大きさの関数である。」ととらえ直すことができるようにすることが大切である。その際、独立変数（中心角の大きさ）と従属変数（弧の長さ）を区別し、「・・・は・・・の関数である。」という形で表現する場面を設定することが考えられる。

中学校2年数学【8】解説シート

◆出題の趣旨

比例定数が a である比例の式は $y = ax$ で表されることを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 C 関数

(1) 具体的な事象の中から二つの数量をとりだし、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。

エ 比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。

◆解答類型

1◎	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
5	オ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

○ 比例の式の特徴を理解できるようにする

比例の関係を式で表すことができるように指導することが大切である。

例えば、比例定数が a である比例の式は $y = ax$ で表されることや、比例定数の意味の理解を深める場面を設定することが考えられる。また、表、式、グラフを相互に関連づけながら、比例定数の意味を確認する活動を通して、比例の式の特徴を理解できるように指導することも考えられる。

その上で、反比例の学習後に比例と反比例の式を対比したり、一次関数の学習後に比例と一次関数の式を対比したりして、比例について学び直す機会を設定することが考えられる。

中学校 2 年数学【9】解説シート

◆出題の趣旨

- (1) 数学的に表現された結果を事象に即して解釈することができるかどうかをみる
- (2) 事象を数学的に表現したり，数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して，事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することができるかどうかをみる

◆学習指導要領との関連

第 1 学年 A 数と式

- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに，文字を用いた式の計算ができるようにする。
- ア 文字を用いることの必要性和意味を理解すること。

◆解答類型

(1)

1	ア と解答しているもの	人	%
2◎	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

(2)

正答の条件	次の(a), (b), (c)について記述しているもの，または(d)について記述しているもの (a) 頂点にある 4 個以外の基石を，辺ごとに囲んでいること。 (b) 1 辺には $(n-2)$ 個あり，そのまとまりが 4 つあること。 (c) 基石全部の個数は，4 つのまとまりと頂点の基石の総数の和であること。 (d) $4(n-2)+4$ と同値な式を示し，その式で基石全部の個数を求められることがすでに問題文で説明されていること。	人	%
1◎	(a), (b), (c)について記述しているもの 例 正方形の辺ごとに頂点以外の基石を囲んでいるので， $(n-2)$ 個のまとまりが 4 つあり，基石全部の個数は $4(n-2)$ 個より 4 個多い。		
2○	(a), (b)のみ記述しているもの 例 正方形の辺ごとに頂点以外の基石を囲んでいるので， $(n-2)$ 個のまとまりが 4 つある。		
3○	(a)についての記述が十分でなく，(b), (c)について記述しているもの 例 正方形の辺ごとに基石を囲んでいるので， $(n-2)$ 個のまとまりが 4 つあり，基石全部の個数は $4(n-2)$ 個より 4 個多い。		
4	(a)についての記述が十分でなく，(b)について記述し，(c)について記述していないもの 例 正方形の頂点以外の基石を囲んでいるので， $(n-2)$ 個のまとまりが 4 つある。		
5◎	(d)について記述しているもの 例 $4(n-2)+4$ を計算すると $4n-4$ になる。 $4n-4$ で基石全部の個数を求められることは，図 2 の場合で説明されている。		
6○	(d)について，「基石全部の個数を求められること」，「問題文で説明されていること」のいずれか，またはその両方について記述していないもの 例 $4(n-2)+4=4(n-2)$ で， $4(n-2)$ はすでに説明されているから。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

- 事象を数学的に表現したり，数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることができるようにする

事象を数学的に考察できるようにするために，数量の関係や法則などを式に表したり式を事象に即して解釈したりする活動を取り入れることが考えられる。

例えば，本問題利用して，囲み方の特徴から基石全部の個数を式に表すととともに，式の特徴から囲み方を見いだす活動を取り入れることが考えられる。

- 事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにする

事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにするために，事柄の意味を事象に即して読み取り，読み取った意味に基づいて，説明する事柄（B）とその根拠（A）を明確に区別し，「（A）であるから，（B）である。」のように的確に表現できるようにすることが考えられる。

例えば，本問題を利用して，囲み方と式 $4(n-2)+4$ を比べて，式の「 $(n-2)$ 」が，「1辺の頂点以外の基石の個数」を意味することや，「 $+4$ 」が「数えていない頂点の基石の個数」を意味することなどをよみとる場面を設定することが考えられる。その上で，囲み方に即して，式 $4(n-2)+4$ で基石全部の個数を求められる理由を説明できるようにすることが考えられる。

- 事象を多面的にみることができるようにする

事象を多面的にみることができるようにするためには，問題解決に必要な視点明らかにし，それを基に事象を考察し直し，様々な事柄を見いだすとともに，見いだした事柄を基に事象で成り立つ様々な性質や関係を捉える活動を取り入れることが考えられる。

例えば，1辺に n 個ずつ基石を並べた正方形について，辺ごとにすべての基石が囲まれている場合から，「同じまとまりをつくる」ことや「過不足を調える」ことなどの視点明らかにし，それを基に，囲み方を工夫し，基石全部の個数を様々な式で表す活動を取り入れることが考えられる。

また， $4(n-2)+4$ を $4(n-2)$ などに変形し，得られた式を事象に即して解釈して，様々な囲み方を見いだす活動を取り入れることも考えられる。

中学校2年数学【10】解説シート

◆出題の趣旨

- (1)与えられたヒストグラムについて，ある階級の相対度数を求めることができるかどうかをみる。
- (2)資料の傾向を的確にとらえ，判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 D 資料の活用

- (1)目的に応じて資料を収集し，コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し，代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。
 - ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること。
 - イ ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。

◆解答類型

(1)

1◎	0.2 と解答しているもの	人	%
2	4 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

(2) (①, ②, ③, ④は, 右の正答の条件による)

1◎	A	①, ②のいずれかについて記述しているものもの (結論はなくてもよい。以下同様。)	人	%	<p>(正答の条件)</p> <p>二人のヒストグラムを比較して, 次のことについて記述しているもの。</p> <p><A選手を選択した場合></p> <p>①: A選手の 475(470)cm 未満の階級の累積度数が小さいこと。または, 475cm 以上の階級の累積度数が大きいこと。</p> <p>②: A選手の方が範囲が小さいなど, A選手が選ばれる根拠となるヒストグラムの特徴。</p> <p><B選手を選択した場合></p> <p>③: B選手の 490(485 または 500)cm 以上の階級の累積度数が大きいこと。</p> <p>④: B選手の最大値を含む階級の中央の値が大きいことなど, B選手が選ばれる根拠となるヒストグラムの特徴。</p>
2○	選手を	二人のヒストグラムを比較する記述が十分でなく, ①, ②のいずれかについて記述しているもの			
3	選択	ヒストグラムに着目して記述しているが, A選手が選ばれる根拠として誤りがあるものや, ヒストグラムの読み取りに誤りがあるもの			
4	択	上記以外の解答, または無解答			
5◎	B	③, ④のいずれかについて記述しているものもの			
6○	選手を	二人のヒストグラムを比較する記述が十分でなく, ③, ④のいずれかについて記述しているもの			
7	選択	ヒストグラムに着目して記述しているが, B選手が選ばれる根拠として誤りがあるものや, ヒストグラムの読み取りに誤りがあるもの			
8		上記以外の解答, または無解答			
9		上記以外の解答			
0		無解答			

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

○ 相対度数の必要性和意味について理解できるようにする

生徒にとって身近な場面で, 資料を収集して, その資料の傾向を調べる際, 総度数が異なる場合が多い。意図的にそのような場面を取り上げ, 階級の度数をそのまま比較することが適切でないことを実感できるようにすることで, 相対度数の必要性和意味について理解できるように指導することが考えられる。

○ 判断の理由を数学的な表現を用いて的確に説明できるようにする

説明する事柄(B)とその根拠(A)を明確に区別し, 「(A)だから(B)である」のように的確に説明できるようにすることが大切である。

また, 生徒の説明には, 日常的な表現が多くみられるので, これらを数学的に表現することで, よりの確かな説明に洗練する場面を設定することが考えられる。例えば, 「A選手を選ぶ」ことの根拠として, 「A選手の方が安定しているから。」という生徒の表現を取り上げ, 「安定している」ことについて話し合う場面を設定し, 「範囲が小さい」など統計的な指標を適切に用いて表現できることを確認し, 「A選手の記録の方が範囲が小さく。」のように表現できるようにすることが考えられる。

平成 26 年度 P 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

(答えは、すべて解答欄に書きなさい。)

1 次の英文を読んで、【1】から【7】の各問いに答えなさい。

<女子中学生の由美(Yumi)がナンシー(Nancy)にあてて書いた初めての手紙です。>

May 5, 2013

Dear Nancy,

This is my first letter to you. I want to be your pen friend, so I am writing this letter.

Hello, my name is Tanaka Yumi. I live in Nagano, Japan. I'm thirteen years old. I go to Aoba Junior High School in Nagano.

I like music very much. I play the piano. I practice it every day. It's difficult, but Do you like music?

I have four people in my family, my father, mother, sister and me. My sister is seventeen years old. Her name is Risa. She① (go) to Midori High School . She also likes music very much. She is in the chorus club. ② (sing / she / songs / can) very well. She has a big concert every ③(8月).

Please tell me about you and your family.

Your friend,
Yumi

〔注〕 letter : 手紙 I want to be your pen friend. : あなたのペンフレンドになりたい。

writing : write (書く) の-ing 形 years old : ~歳 Junior High School : 中学校 practice : 練習する

difficult : 難しい High School : 高校 chorus : 合唱 concert : コンサート tell : 教える

【1】下線部①の () 内の語を、最も適切な形になおして1語で書きなさい。

【2】下線部②が意味の通る英文になるように、() 内の4語を並べかえて書きなさい。ただし、文の始めにくる語は、大文字になおして書きなさい。

【3】下線部③が「8月」の意味を表すように、() 内に正しい英語1語を書きなさい。

◇本文の内容について【4】、【5】の質問に英語で答えなさい。答えは() 内に1語ずつ書きなさい。

【4】 Does Yumi play the piano?

(), () ().

【5】 Who is in the chorus club?

() is.

【6】前後の文のつながりを考えて、 内に当てはまる最も適切な文をア～エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

- 〔 ア it's very long.
イ it's very interesting.
ウ it's very late.
エ it's very big. 〕

【7】本文の内容に当てはまる文をア～エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

- ア この手紙は、5月5日にナンシーが書いたものである。
イ 由美は、姉の理沙(Risa)より2歳年下である。
ウ 由美と姉の理沙(Risa)は、二人とも音楽がとても好きである。
エ 由美は、ナンシーとその友達について知りたいと思っている。

2 次の【8】から【10】の各問いに答えなさい。

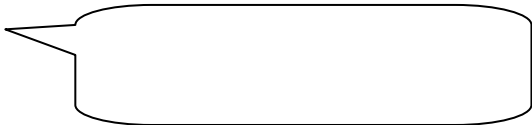
【8】次の対話が自然な流れになるように、に当てはまる最も適切な英文を、下のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

Emi: Hi, Ken. How are you?
Ken: I'm very sleepy.
Emi: Really?
Ken: I went to bed at eleven fifty.

〔注〕sleepy : 眠い

- ア Where did you go?
イ What time did you get up?
ウ How many books do you have?
エ What time did you go to bed?

【9】太郎 (Taro) は Tom から下線①のように話しかけられたが、ペンを持っていなかった。その時の太郎の返答を考え、吹き出しの部分に当てはまる英文を2文で書きなさい。

Tom: Taro, ①can I use your pen?
Taro: 
Tom: Oh, I see.

【10】次の条件に従って、英語2文であなたの家族の一人についての紹介文を書きなさい。

【条件】

- ①一文目は、家族の名前を紹介する **This** で始まる英文を書く。
- ②二文目は、その家族が好きなこと、ふだんすることなどについての英文を4語以上で書く。

解答用紙

正答数

問/10問

平成 26 年度 P 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

[解答欄]

1	【1】		
	【2】	() very well.	
	【3】		
	【4】	(), () ().	
	【5】	() is.	
	【6】		【7】
2	【8】		
	【9】		
	【10】		

中学校2年英語【1】解説シート

◆出題の趣旨

主語や時制に応じて動詞を活用できるかどうかをみる問題である。ここでは、主語が **She** であることと前後の文章の時制から判断して、一般動詞（現在）を3人称・単数・現在の形に直すことが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(3) 言語材料

エ 文法事項 (エ) 動詞の時制など

現在形, 過去形, 現在進行形, 過去進行形, 現在完了形及び助動詞などを用いた未来表現

◆解答類型

1◎	goes と解答しているもの	人	%
2	gos または gose と解答しているもの		
3	went と解答しているもの		
4	going と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

口頭練習や音声による練習を十分行った後、主語と動詞に着目して書かせることで定着を図りましょう。

◇主語を明確にした上で、カード、絵、写真などを用いて、一般動詞の原形と3人称・単数・現在形を比較させながら口頭練習を十分に行い、理解・定着させましょう。

【口頭練習の例】

①一般動詞の原形と3人称・単数・現在形の動詞が書かれたカードを見せて口頭練習を行う。

play → plays **like → likes** **want → wants** **go → goes**

②【基本文】を見せ、主語カード(①)と動詞句カード(②)を組み合わせながら、主語によって動詞を3人称・単数・現在形になおして口頭練習を行う。

【基本文】 ① ② .

カード ① **I** **You** **Taro** **Hana** ② **play tennis** **go to school**

◇外国語活動で音声に慣れ親しんできている生徒の実態を大切に考え、まずは聞くこと、話すことを中心に音声で3人称・単数・現在形に十分触れさせましょう。そして、書くことにより定着を図りましょう。

自分のことを紹介する文に、インタビュー活動で得た友の情報を加えて、英語に書いてまとめましょう。

I like tennis. Taro like tennis, too.
I play it every Sunday, but he play it every day.

主語(～は、～が)と動詞(～する)の関係は正しいかな。

主語は Taro で、3人称・単数だから動詞に-s をつけるんだった。Taro likes tennis. He plays it every day. にすればよさそうだな。

中学校 2 年英語【2】解説シート

◆出題の趣旨

「主語＋助動詞＋動詞＋目的語」の語順の定着をみるものである。

ここでは、主語と助動詞、動詞がどれであるかを判断し、語と語のつながりに注意して正しい語順に並びかえることが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

エ 書くこと (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

◆解答類型

1◎	<u>She can sing songs</u> と解答しているもの	人	%
2○	語順は正しいが、文頭の S を小文字としているもの		
3	上記 1, 2 以外の解答のうち、 can sing の語順は正しいもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答 (準正答)

◆学習指導にあたって

英語は、語順が大切であることを伝え、「主語＋助動詞＋動詞」の語順に着目させると同時に、英語と日本語の語順の違いも意識させましょう。

◇「主語」と「動詞」を見つけさせ、語順を意識付けましょう。

主語になりそうな語はどれかな。
何について言っている部分かな。

文の前後から **Risa** のことを話しているから、**She** が主語だな。

動詞になりそうな語はどれかな。
助動詞＋動詞の原形のまとまりを意識しよう。

can と **sing** だな。どちらが先かな？
そうすると、**can sing** の順でいいな。

では、語順を意識して文を書いてみよう。

She can sing songs でいいな。文頭は大文字になっているぞ。

◇英語と日本語との違いを意識させましょう。
(英語では、語順が大切であることを伝えましょう。)

Taro likes Hanako. の意味は？

Taro が主語になるので、「太郎は」となり、**Hanako** は **like** の目的語となるので、「花子を」となり、「太郎は花子を好きです。」という意味になる。

日本語で「太郎は花子を好きです。」と「花子を太郎は好きです。」とでは、どちらも同じ意味ですが、英語で **Taro** と **Hanako** を入れ替えると、どうなるでしょう。

Hanako likes Taro. と **Hanako** と **Taro** を入れ替えると、「花子は太郎を好きです。」となり、英語では、意味が変わってしまう。

どんなことが言えそうかな？

英語では主語と目的語の場所があり、その場所が違うと、意味が違ってしまうんだな。

中学校 2 年英語【3】解説シート

◆出題の趣旨

中学 1 年生で指導する語を英語で正しく書く力をみる問題である。ここでは、8 月という「月」の名称を正しく書くことが求められる。

◆学習指導要領との関連

- (3) 言語材料 ウ 語，連語及び慣用表現
(ア) 1200 語程度の語

◆解答類型

1◎	August と解答しているもの	人	%
2	august と単語の始まりを小文字で解答しているもの		
3	Augast, Ougust 等（綴りの誤り）と解答しているもの		
4	他の「月」の名称を正しく書いているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

授業のはじめに全体で確認している曜日，月，数字などの基本的な語句は，口頭で言えるだけでなく，学習カードやノートに書いて確認する工夫をして，定着を図りましょう。

◇「august」や「Augast」，「Ougust」などの綴りの誤りによる誤答を生かして，日常生活でよく用いられる曜日，月，数字のような基本的な語句を正しく書く場面を仕組みましょう。

1 月から 12 月まで英語で言えるかな。

1 月から，「ジヤニャリイ，・・・」
12 月から逆に，「デイヤグ，・・・」
5 月は「メイ」 8 月は「オガスタ」・・・

しっかりと覚えていきますね。
では，1 月から 12 月まで月を英語で書いてみましょう。

January, February,・・・
8 月は「オガスタ」だから「August」かな「Ougust」かな。

正しく書くコツを覚えましょう。
「オガスタ」の「オ」は「Au」と書きます。

8 月は，August と書くんだ。そういえば，「オストリア」の「オ」も「Au」と書いたな。

「Ougust」は「アウガスタ」，「August」は「オギヤスタ」という発音になってしまうかもしれません。

ou は「アウ」と発音するんだ。だから out は「アウト」と読むんだな。

中学校 2 年英語【4】解説シート

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、簡単な質問を理解し、Yes か No を使って適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは、本文中の I play the piano. に着目すること、Yumi を代名詞の she にかえること、Does が疑問文の文頭にきているため、答えの文末が does になることを理解していることが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。

(3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞(can, do, may など) で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why) で始まるもの

◆解答類型

1◎	Yes she does と解答しているもの	人	%
2	Yes～と解答しているが、主語が she でないもの		
3	Yes she ～と解答しているが、最後が does でないもの		
4	No ～と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

尋ねられたことに対し、どのように答えればよいのかを理解させ、言語活動を繰り返す中で確実に身に付けることができるように指導しましょう。

◇be 動詞と一般動詞の yes-no 疑問文と、その応答の仕方について基本的な特徴を理解させることに留意し、聞いたり読んだりしたことなどについて問答するような言語活動に繰り返し取り組めるようにしましょう。その際、尋ねられた部分だけを答えるのではなく、フルセンテンスで答えたり、答えを書いて確認させたりするなどして、確実な定着を図りましょう。

尋ねられた内容について Yes かな No かな。

尋ねられた内容が述べられている部分を見つけ、内容に照らし合わせて判断しよう。

答えの文ではどの代名詞を使えばよいか。

Yumi についてだから、she を使うといいな。

答えの文の文末はどんな形かな。

be 動詞の疑問文の答えの文末は is, are, was 等だな。
一般動詞の疑問文の答えの文末は do, does, did 等だな。
ここでは、Does で尋ねられているから、答えの文末に does を付けて答えればよさそうだな。

中学校 2 年英語【5】解説シート

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、疑問詞を使った簡単な質問を理解し、適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは、疑問詞 Who は「だれ」なのかを尋ねていることが分かり、そこから本文中の **She is in the chorus club.** に着目することができること、又その主語 **She** が **Risa** のことを表していることを読み取り、適切に答えていくことが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

- ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。
- エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。

(3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

- d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞(can, do, may など) で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why) で始まるもの

◆解答類型

1◎	Risa (is) と解答しているもの	人	%
2	Yumi / Nancy (is) と解答しているもの		
3	Yes / No (is) と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

wh-疑問文とその応答の仕方を口頭練習や書く活動で確実に身に付けさせましょう。

◇教科書本文内容についての QA 活動では、Yes / No 疑問文に加え、5W1H についても問うようにしましょう。また、ア short answer, イ full answer のそれぞれのパターンでの答え方について、口頭だけでなく書かせることで確実に身に付けさせましょう。

- ①疑問詞を使った簡単な質問（疑問文）の意味が理解できているか確認しましょう。
- ②文中のどの英文についての質問なのか、根拠となる英文にアンダーラインを引く習慣を身に付けさせましょう。
- ③教科書本文のQA活動などで、5W1H などの様々な疑問文に対して書いて答えることができるようにしましょう。
- ④答え方の2つのパターンを示しながら、口頭練習や書く活動の中で確実な定着を図りましょう。

(例) She(Risa) is in the chorus club.の英文に対して,Who is in the chorus club?と発問。

→答え方(例)として、ア Risa is. イ Risa is in the chorus club.

この場合、Risa のみとした解答は、不正解とせず、質問の内容を理解しているととらえ、上記の答え方(例)ア、イのような正しい英文として答えられるように指導しましょう。

中学校2年英語【6】解説シート

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、その概要を読み取ることができるか。本文の中から手がかりとなる語句や表現を見つけ、それをもとに、選択肢の中から適切な英文を選択することができるかどうかをみる問題である。ここでは、書き手の Yumi が **I like music. I play the piano. I play it every day. It's difficult.** と述べていることと、文頭にある接続詞 **but** から判断して、「(しかし)それはとてもおもしろい」という内容の文が適切に選べるかどうか求められる。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 書くこと (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

◆解答類型

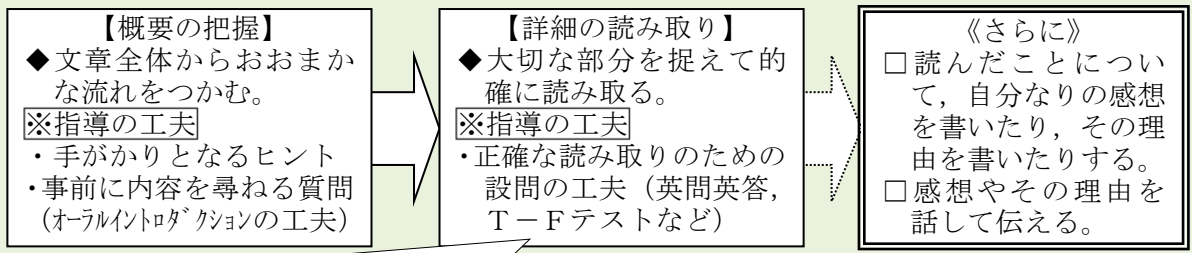
1	ア と解答しているもの	人	%
2◎	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

概要の把握→詳細の読み取りへ。3種類の質問を用いて読み深めていきましょう。

◇「読むこと」の指導では、書き手が伝えたいことを正確に読み取ることが大切です。そのために主人公は誰か、話がどのように展開していくのか、おおまかな流れをつかんだ上で、大切な部分を捉えて的確に読み取る力を付けていきましょう。その際、まず、【概要の把握】として、キーワード等をもとに内容を推測し、それらを関連させて概要をつかませます。次に【詳細の読み取り】として、事実や事柄を的確に捉えさせるために、設問を工夫するなどして詳細を理解できるようにします。さらに、「読んだ」感想を「書いて」まとめたり、「書いた」事柄を「話して」伝えたりするなど、他の領域の言語活動と関連付ける指導の工夫も大切です。



3種類の質問 (fact-finding Q, inferential Q, personal Q) を段階的に用いていきましょう。

中学校2年英語【7】解説シート

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について読み取ることができるか。本文の中から手がかりとなる語句や表現を見つけ、それをもとに、選択肢の中から英文内容に適したものを選択することができるかどうかをみる問題である。ここでは、書き手の Yumi が自分について **I like music very much.** と述べており、また姉の Risa についても、**She also likes music very much.** と述べている部分に着目し、選択肢の中から「由美と姉の理沙は、二人とも音楽がとても好きである。」が選べるかどうかを求める。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3◎	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

2種類の読み方 (Skimming と Scanning) を用いて、正確な読み取りにつなげましょう。

◇中学校学習指導要領解説 外国語編 言語活動の指導事項 ウ 読むこと

(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること より

「例えば、物語では、どんな登場人物がいるのか、主人公は誰か、話がどのように展開していくのかなど、大まかな流れをつかみながら読み取ったり、説明文では、特に中心となる事柄など大切な部分をとらえて的確に読み取ったりすることである。」



◇指導の具体

読む目的と題材内容に応じて2種類の読み方ができるよう、指示や発問を工夫しましょう。

- ◎Skimming(大まかな流れをつかみながら読む)を使った読ませ方
 - ・ 5W1H を中心に読み取っていけるように、登場人物などのキーワードに○を付けさせたり、時系列に出来事を表にまとめていくなどして読み取らせていく。
- ◎Scanning(中心となる事柄など大切な部分を捉えて読む)を使った読ませ方
 - ・ 手がかりとなる語句や表現をヒントとして与えたり、事前に内容を尋ねる質問をしたり、また設問の仕方に工夫をしたりするなどして読み取らせていく。

中学校2年英語【8】解説シート

◆出題の趣旨

会話内容にまとまりをもたせながら、積極的に継続し発展させていく力についてみる問題である。ここでは、Ken の I'm sleepy. との発話に対して Emi が Really? という相づちをうつ表現を用いて会話を継続していることと、その後の Ken の I went to bed at eleven fifty. から判断して、「何時に寝ましたか？」にあたる英文が選べるかどうかをみる問題である。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

イ 話すこと (エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。

◆解答類型

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

普段からつなぎ言葉や相づちをうつ表現に慣れ親しませながら、会話を継続する大切さを実感できるような場面設定や指導の工夫をしていきましょう。

○場面設定を明確にし、目的をもたせた上で対話活動を行うことで、必要な表現や技法を用いて会話を継続・発展させていけるように指導の工夫をしていきましょう。



そのために、

◇帯活動などを通して、話を継続したり発展させたりすることに慣れ親しませましょう。

- ・ Let me see. や Well, など、会話を続けるために用いられる表現を練習する。1分間対話などの帯活動を位置付ける。使えた表現を蓄積していけるよう指導する。

◇「いろいろな工夫」をして気持ちや考えを伝えるよさを指導しましょう。

- ・ 会話を続けたり発展させたりするために、相手に質問をしたり、知らない表現については、身振り手振りや既習の表現などを使い、何とかして自分の考えを伝えようとする意欲を評価する。(単元の評価計画の中に、評価規準として意図的に位置付ける。)

- ・ 相手が話しやすいように、I see. や Sure. など、相づちをうつ表現を適宜用いるように、教師がモデルとして示したり、指導したりする。

中学校 2 年英語【9】解説シート

◆出題の趣旨

問答の意味を理解し、条件に合うように、英語を使って適切に応じることが求められる。

◆学習指導要領との関連

(2) 言語活動の取扱い ア (ウ) [言語の働きの例]

d 考えや意図を伝える

(3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞 (can, do, may など) で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why) で始まるもの

正答例

例 1) I'm sorry. I don't have a pen. (I don't have any pens.)
例 2) I only have a pencil. Is that OK?

◆解答類型

1◎	ペンを借りたいというトムの意向を汲んで、正しい英文 2 文で答えている	人	%
2○	ペンを借りたいというトムの意向を汲んで、英文 2 文で答えているが、英文に文法的な間違いがある		
3	ペンを借りたいというトムの意向を汲んで、正しい英文 1 文で答えている		
4	許可を求めたり、依頼したりする Can I~? の言語の働きを理解せず、文法的には正しい英文 2 文で答えているが、ペンを借りたいというトムの意向を汲んでいない。(例 No, you can't. You can't use my pen. 等)		
5	ペンを借りたいというトムの意向を汲んでいるとは判断できなかったり、英文に文法的に間違いがあったりするが、英文 2 文で答えている		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答 (準正答)

◆学習指導にあたって

コミュニケーション活動を行う際は、話し手や聞き手の意向を正しく理解して取り組めるよう適切な場面を設定し、考えや気持ちなどを正しく伝え合う活動を行いましょ。

◇考えや気持ちを伝え合う活動においては、具体的な場面や状況に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができるよう工夫しましょう。

- ①具体的で分かりやすい場面を設定し、その場面にふさわしい表現をいくつか提示し、その中から、話し手の意向に沿って表現を選択できるようにする。
- ②考えや気持ちを伝え合う意欲を大切に、「正確さ」だけでなく「適切さ」を観点に表現を振り返るような場を授業に位置付けていく。
- ③帯活動等で、既習事項を活用してコミュニケーションを図る場を意図的に設定する。

中学校 2 年英語【10】解説シート

◆出題の趣旨

身近な場面、特に家族について英語 2 文で書くことができるかどうかをみるものである。ここでは、書く内容を構想する力、正しく文を書く力が求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容 (1) 言語活動

- エ 書くこと (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。
 (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。

正答例

例 1) This is my father, Hiroshi. He likes baseball very much.

例 2) This is Emi. She plays the piano every day.

◆解答類型

①, ②, ③については下の正答の条件を参照してください。

正答の条件

- ① 1 文目は、This で始まる家族を紹介する文であり、2 文目はその家族が好きなこと、することなどを 4 語以上で書いてあり、2 文とも語順が正しい。
 ② 2 文とも、動詞の活用についての綴りミスをしていない。
 ③ 動詞の活用以外の単語に綴りミスをしていない。

100	①, ②, ③をすべて満たすもの	人	%
200	①, ②を満たすもの		
3	文法的な間違いがあるが、内容的に理解できる 2 文が書かれているもの		
4	内容的にも文法的にも正しいが、1 文だけ書かれているもの		
5	つづり及び大文字・小文字の間違いがあるが、内容的に理解できる 1 文が書かれているもの		
6	文法的な間違いがあるが、内容的に理解できる 1 文が書かれているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎ 解答として求める条件すべてを満たしている正答

○ 設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

「まとまりのある文章を正しく書く」ために、段階を踏んで指導していきましょう。

◇「まとまりある文章を正しく書く」ための段階を踏んだ指導(例)

- ① 身近な事柄や自分の考え、気持ちなどを表すために必要な文法事項や表現等を教科書で学習したあと、生徒が書く必要感や目的がもてる場を設定した上で、書く活動を位置付けましょう。
- ② 書く見通しをもたせるために、教科書本文をもとに書く型を示したり、教師のモデルから活用できる表現に気付かせたりするなどの指導の工夫をしましょう。
- ③ 文の完成後は、観点を明確にして生徒同士で読み合ったり、教師が添削をしたりして、生徒が英文の内容や構成、正しさに目を向けるような場を位置付けましょう。
- ④ 英文を正しく書く力の定着を図りましょう。
 - ・ 完成した英文を読んだり発表したりする活動を位置付け、文の語順や英文同士のつながりなどに着目できるよう指導しましょう。
 - ・ 家庭学習は、授業で学習した内容をもとに課題を出しましょう。